



かわさき生活クラブ生活協同組合 理事会  
発行責任：野村美湖  
編集責任：機関紙編集委員会  
問合せ：kawasaki.seikatsu.club@gmail.com

かわさき生活クラブで

## かわさきらしいみどりを つくろう



### CONTENTS

- 1~3 特集：かわさきらしいみどりをつくろう
- 4~6 専門委員会アピール・理事研修・私たちの組合員パートナー W.Co
- 7 レポート・理事会報告
- 8 消費材コラム・インフォメーション

### 都市農業を守り育てるために 地域の農とつながろう

住宅地の中にある身近な田畑の風景。いろんな虫や鳥などの生き物がいて自然を感じることができます。そんな都市農業には様々な役割があります。

#### 1.新鮮な地場野菜

距離が近いということは、新鮮な農産物が供給できる輸送コストやCO2削減も抑えられます。

#### 2.教育や交流の場

地域に住む人や子どもたちの農業体験、学びの場となります。人が集い、つながりがうまれます。

#### 3.防災

避難場所、炎症防止の防災空間の確保に役立ちます。

#### 4.環境の保全・維持

雨水の保水、そして生き物のすみかとして生物多様性・生態系の維持につながります。気温上昇、温暖化防止にも。

かわさき生活クラブは、川崎の地場野菜生産者「向丘農産物流通組合」と1976年の青果取り組み開始を機に交流を深め、一緒に農あるまちづくりに取り組んでいます。

地場野菜セットの取り組み、圃場見学、野菜の規格を確認する目合わせ会、食育講座、除草剤を減らす計画的労働参加、援農、親子収穫体験等を連携して実施してきました。農業に従事する人が減り高齢化がすすんでいます。川崎の農地を守っていくために、これからも近いところで美味しいものを食べ続けるために、かわさき生活クラブは都市近郊農業を担う生産者を応援します。



左から：向丘農産物流通組合の  
小泉さん・藤井さん・吉岡さんとお二人の息子さん（冬生さん・有馬さん）  
※この写真には写っていませんが、三橋さんもいらっしやいます。

できること①  
食べよう！



できること②  
参加しよう！

### 生産者の畑で農あるまちづくりの一端を担う活動

#### 縁農チーム

提携生産者の畑のお手伝いを通し、農作業の大変さを垣間見ることによってデポーに並んでいる地場野菜がより愛おしく感じられます。自然の恵みと生産者の努力に感謝の念を禁じえません。

GMフリーゾーン宣言  
生産者の畑に組合員のカンパで「NO！遺伝子組み換え作物」の看板を設置しました(2005年)



体験型農園▶第6期を数えました。参加者58名。  
縁農チーム▶登録メンバー57名  
みんなで野菜を育てるチーム▶24名。

#### 体験型農園

生活クラブの提携生産者の畑で、農薬・化学肥料を極力使わない生産方法を生産者の指導を受けながら実践。仲間とのつながりもでき、自然の偉大さを実感し、何よりも採れたて野菜を楽しんでいます。



#### 体験農園に参加して、サポーターに！ 岡野さん

生産者の藤井さんから目から鱗が落ちるような事を教えて頂きました。そこにサポーターのお話を頂きました。援農のお仲間にも入れて頂き、いろいろな活動に参加する機会を頂いたことも良かったです。



できること③ 参加しよう!

かわさき生活クラブと  
連携している

# かわさき各地の緑のコミュニティ

## 『ふれっしゅふあーむはぐかふえ』 & 『みらぼマルシェ』

多摩区

障害を持つ仲間が安心して働き、学び  
生活できることを目指しています!

社会福祉法人はぐるまの会の共同作業所  
「みらぼ」(みんなの未来を作るラボ)  
の1階で仲間が栽培した野菜を使った  
メニュー、野菜の販売。誇れる  
仕事として力いっぱい働く喜び  
を体感できる農業に取り組んで  
います。



## 『野菜だいすきファーム』

宮前区

昨年から養蜂も開始しました!

向丘の吉岡さんの畑などを借りて「農ある  
暮らし」を伝えています。生ごみ堆肥など  
で微生物のたくさんいる土作り。野菜の種  
類も豊富です。生ごみ堆肥受け入れ、農業  
体験、味噌づくり、焚き火交流会など地域  
の人も参加できます。気候変化やスズメバ  
チの攻撃などに対して奮闘するニホンミツ  
バチ。個性すら感じ、一生懸命生きる姿に  
感動しています。



## 『るーむら麻生 緑農部』

麻生区

たくさんの野菜に触れることができる  
喜びを実感!

麻生区片平の畑で生産者さん  
の出荷、農作業のお手伝い  
や、野菜を収穫して買い取り  
「るーむら麻生」での販売活  
動を行なっています。



## 『フォレリウム2022』

高津区

～都市緑化×狂言×ソトアソビ～

@eM/PARK(溝の口)

緑や広場の少ないまちにも多様な可能性を!

空と緑とごちそうと!駐車場の屋上緑  
化を中心に「まちを育む広場」作り  
を体現するイベントを年に数回開催。  
かわさき生活クラブもフォレリウム実  
行委員会のメンバーとして出展。2023  
年はパワーアップして開催予定です!



## 『こすぎこんぼすと部』

中原区

地域で循環の輪を広げて行きたい

生ごみを堆肥化するコンポストを普  
及させたいことから、「まんなかフ  
ェス」で放置竹林×生ごみ堆肥の竹  
プランター作りWSと野菜だいすき  
ファームの野菜を展示・配布しまし  
た。その後、ご縁が繋がり、コンポ  
ストおはなし会を開催。地域の仲間  
が増え、地域社会に根付いた活動の  
大事さを実感しています。



## 『one park みのりフェンス』

川崎区

緑を育てて食べて楽しむ体験の連続性を創ることで  
人と人、人と自然の距離を縮めたい

川崎区役所大師支所跡地の空き地one parkでFood  
scaping※1を広げようと、食べられる庭”みのりフェ  
ンス”づくりの活動が行われています。企画運営事業者  
Green Neighborsも「みどりの共創プロジェクト※2」に参  
画し、みどり×コミュニティをテーマに、みどりを通じて  
地域の人が主体となりつながる施策について一緒に熱い  
討議を重ねました。

※1 (Food(食べもの)とLandscape(景観)を掛け合わせた英語の造語)

※2 次ページ参照

## 『新川崎ふるさとづくりの会』

幸区

コミュニティガーデン

@さいわいふるさと公園

「ここが私のふるさと」と思えるコミュニティづくり

園芸を通じて地域の知り合いを増や  
し、大人も子ども達も繋がりをもつ。  
四季を感じる植物たちの美しさだけで  
なく、生ごみコンポストや落ち葉の堆  
肥も活用した環境循環型ガーデン。  
メディアで活躍するバラの専門家から  
も指導が受けられたり、ご夫婦で活躍  
している方も多く、老若男女誰でも楽  
しく活動できて園芸の達人も目指せま  
す♥



他にも、わたしたちのすぐそばで  
農の活動をしている人はいませんか?  
情報をお待ちしています!





農に興味ある人と一緒に  
コミュニティ畑をやりたいね



コンポストを普及させよう！

畑を利用して  
ソーラーシェアリングもいいね

川崎の街に農地があること  
の重要性を肌で感じてほしい。  
地元の野菜を買おう！

四季折々の自然を感じたい。  
身近にいる生き物観察・キャンプ  
バーベキュー・収穫祭・畑で歌うetc・  
夢がひろがります！

## かわさき みどりの共創プロジェクト

『みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち』  
の実現をめざして

川崎市政100周年記念事業プラットフォーム「かわさき みどりの共創プロジェクト2022」に参加し、昨年10月から”みどり×コミュニティ”をテーマに市民団体・事業者・行政が連携して事業検討ワークショップを重ねてきました。

かわさき生活クラブは、食の共同購入・コンポスト・向丘農産物流通組合との提携・廃食油の再資源化など、様々なローカルSDGsの実践となる活動の歴史があります。この活動を生かし、地域市民で野菜を育て食べ、生ごみはコンポストを使い肥料にし再利用する、市民参加型のグロウガーデン※の事業提案につなげました。



※市民が育てる・成長する 菜園・庭園の思いを込めています。

## 市民政策提案

市民の声を行政の政策に反映させる活動を続けています

ごみの分別や市立学校給食のNON-GM(遺伝子組み換え食品不使用)対策など、これまでも市民政策提案を行い市政に反映してきました。この数年は、大消費地かわさきの貴重な食の生産現場であり、災害時には地域市民の避難場所にもなり得る「かわさきの農地」を次の世代に手渡せるよう、農作物を作りながらエネルギーも生産できる「ソーラーシェアリング」の導入についての提案を入れ続けています。

2022年度は10月のFEC+W KAWASAKIまつりの各会場で食・みどりをテーマに実施した意識調査アンケートの結果を踏まえ、学校給食での地場野菜の取り組みの強化なども加え、12/12(火)に提出し、2/22(水)に回答が届きました。早期に共有の機会をつくり、次の提案活動にも繋げていきます。



## 全国オーガニック 給食フォーラム

10/26開催報告



生活クラブも協賛し、全国から関心のある3000名以上が集いました。多くの自治体リーダーや農協職員、議員、子ども達の健康と未来を願う大人達

が共に学び合い、食糧危機や気候危機の今だからこそ日本の食・農業を切り開くカギが「オーガニック給食だ」と各地の事例や知識、想いを分かち合いました。川崎市でも農あるまちづくりのために、有機給食化しよう♪と活動も始めました！あなたも一緒に動きませんか？

できること④ 参加しよう！

チームに入りませんか？

(緑農チーム・体験型農園・有機給食の活動)



その他・感想・  
情報まっます

都市の中に農地・緑を残すことは簡単ではありません。ひとたび農地を訪れると、川崎にもこんなに緑が残っていたんだと驚くような自然が目の前に広がります。ぜひ体験しませんか。



# 牛乳の利用が減っています。 飲んで・食べて・予約して・牛乳を守ろう！



## 消費委員会

生活クラブの共同購入の価値と消費材について学びます。組合員にひろめていくことで分かって食べる組合員を増やす活動をしています。持続可能な生産と消費のためにおおぜいに利用を呼びかける委員会です。

## 牛乳の利用が持続可能な生産を守ります！

生活クラブでは酪農家と一緒に工場をつくり、製造工程や価格のすべてを公開し、安全で美味しい牛乳をつくり続けてきました。牛乳を飲んで、乳製品を食べて、予約して利用しましょう。私たちが利用し続けることで、提携酪農家は、安心して生産が続けられます。

## 酪農家の生産者の経営が危機的な状況！

気候危機や国際情勢の影響で、飼料費や燃料費などが高騰し、生産コストが上昇しています。飼料費が今年の約1.5倍に増えている提携酪農家もいます。また、酪農家の多くは、乳牛から生まれた雄の子牛を肉牛用に販売し、経営を維持してきましたが、肉牛の買い控えにより、子牛の価格が暴落、コロナ禍で牛乳や乳製品の需要が激減したことで、国内の酪農家の廃業が急増しています。



## ホワイトキーマ(4人分)

### <材料>

- 牛乳…500cc
- 牛ひき肉…1パック(200~250g)
- ミックスベジタブル…100g
- 玉ねぎ… 中1個
- 薄力粉…大さじ2
- バター…大さじ1
- 洋風だし…1袋
- 塩コショウ適宜

### <作り方>

- ①バターで玉ねぎのみじん切りをいため、牛ひき肉を加えてバラバラになるまで炒める。
- ②ミックスベジタブルを加えていため、小麦粉をだまにならないよう、少しずつ振り入れて炒める。
- ③小麦粉がなじんだら牛乳、洋風だしを加え、塩コショウで味をととのえる。

ご飯にもパンにも合う！  
フライパン1つで簡単、子どもにも人気



## 1月 理事研修報告

### 向丘農産物流通組合の 吉岡さんの畑 見学



向丘農産物流通組合の  
野菜はデポで買えます



食べ物は私たちのいのちそのもの。有機・減農薬など一昔前まではそんな言葉すら必要がなかった。しかし、私たちが「便利」「見た目」を追求する事で、慣行栽培が農薬・化学肥料を使う栽培に。そんな不自然な「普通」を、私たちは今一度見直す時期に来ているのではないのでしょうか？

地域の中で助け合える関係をととても大切にされている吉岡さん、楽しく百姓をしているから今まで続けてこれたとおっしゃいました。

温かい思いがあるからこそ生活クラブの農グループとしてずっと対等な立場で関わって来てくださったのだと感じます。これからの未来、私たち組合員がどんな「かわさき」を創っていくのでしょうか？

経験したことがない事は想像しても分からないことだらけ。経験すればするほど人生にも奥深さがでてきます。農を今一度見直し、おおぜいの私で農を体験し、いのち豊かな未来を創っていきましょう。(假屋)



# 再生可能エネルギーは持続可能な未来への希望

「原発再稼働で電力需給逼迫は本来的に解決するのか？」というフォーラムが1月24日に開催されました。講師は気候変動、原子力問題、電力システムに詳しい大島賢一氏と高橋洋氏。

原発が本当に必要なのか？電力需給の視点から国内だけでなく海外のグローバルな視点を含んだお話しに、生活クラブがなぜ再生可能エネルギー事業に力を入れるのかを再確認でき、私たち生活クラブが再エネをを拡げていった先の希望を感じました。

原発から再エネに切り替えれば、莫大な維持費と余分な投資は不要になり、結果的に電気料金の上昇を防げると試算されています。

生活クラブの組合員は全国に約42万人もいるのです。生活クラブでんきに切り替えるという行動が、誰をも傷つけない未来を創れるところ熱くなりました。

環境平和委員会

Think globally  
act from KAWASAKI  
地球規模で考えながら、  
足元の川崎から行動しよう

- ・「再生可能エネルギーの普及」
- ・「脱プラや資源循環」
- ・「非平和への気づき」・・・  
子どもたちに引き継ぎたい未来  
に向けて活動しています！

1月の環境平和委員会では…

2023年度はどんな活動がしたいか をみんなで話し合いました。

- ・ビーチクリーン ・水処理センターの見学 ・デポー周辺のごみ拾いを継続
- ・ペットボトルリサイクル工場の見学をシリーズ企画
- ・夏のエコ活マルシェ（親子で参加できるイベント）を今年も開催
- ・藤沢にあるエコストアパパラギに行きたい
- ・「せっけんマイスター講座」を7月のシャボン玉月間からスタートしよう
- ・ヒロシマ代表派遣の前に川崎市平和館に行く
- ・でんきの生産者の見学会や交流会を開催したい などなど・・・

環境平和委員会の活動が活発な地域もあれば、これから盛り上げていきたい地域もあります。地域のメンバーが協力・連携しながら活動をすすめています。気になるイベントがあれば気軽に参加してくださいね。

## 9月 理事会研修報告

### 「川崎市民石けんプラント」見学

場所：川崎市川崎区塩浜2-21-3



せっけんからはじめよう  
地球を守る小さな一歩

廃食油を石けんやエネルギーに  
リサイクルするってすごいね！

1970年代、家庭排水による合成洗剤の影響で泡だらけになった多摩川をきっかけに「加害者にならない！」という市民の出資で創立された、廃食油(使い終わった食用油)を石けんやバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルする工場です。工場内の見学と設立までの歴史を学び、市民の声が大勢になれば実現できることを実感しました。廃食油は今海外に売られる程の資源になっていると聞き、捨てればゴミとなりますが、リサイクルして活用することを40年以上前から実践していて、すごいことだなと思いました。

川崎市内の学校給食や市民から廃食油を回収し、再び活用され、川崎市内で地域内資源循環の輪を作っています。リサイクル石けん「きなりっこ」は、台所はもちろん洗濯、掃除にも使えます。環境にも体にもやさしい石けんです。皆さんも一度使ってみませんか？また、どなたでも工場見学できます。

それぞれのコモンズ・デポーで行ってみませんか？（永野）

「石けんプラント」について







住みなれた町で豊かに安心して暮らし続けるために  
※1  
**エコプラスに加入**して地域のたすけあいを広げましょう

エコ共済は生活クラブ組合員がつくったオリジナルの共済制度。  
 生活クラブで活動していく上で組合員みんなに必要なたすけあいのしくみ  
 です。その特約のエコプラスは手助けが必要な組合員とサポートでき  
 る組合員をコーディネーターがつなぎ、支えあうしくみです。

**共済たすけあい委員会**

生活クラブがつくってきた『たすけあいのしくみ』を多くの組合員の理解と共感を深め、ひろげていく委員会です。



参加の仕方は3通り/

利用者	右の利用条件に当てはまる加入者は、日常的な困りごとのサポートを依頼することができます。 (例:子どもの見守りや送迎の付添い、ゴミ出し、掃除、病院買物の付添い、水やり、話し相手など)
サポーター	サポートする人。みんなの掛金からサポート料を給付 (事前のサポーター登録が必要)
賛同者	利用条件に当てはまらず、サポーター登録もしない加入者は、賛同者としてしくみを支えます。

※2  
 2023年4月~「**小学校6年生まで**」になります

- ① 妊娠中または**小学校3年生まで**の子供がいる
- ② 18歳以下の子どもがいる母(父)子家庭
- ③ 障がい児、障がい者が家族にいる(同居)
- ④ 要介護認定者が家族にいる(同居・別居)
- ⑤ 加入者が70歳以上(独居は65歳以上)

詳細はコチラ



🔍 **エコプラス** ✕  
 で検索してね!

(※1)「エコ共済」の特約として、エコ共済の掛金100円/月にもう100円をプラスして計200円/月で加入します。

(※2) エコプラスの利用を支える10%の加入率達成をもって実施するとしていた制度改定ですが、コロナ禍での利用低迷が続いていることから、2023年4月に制度改定を行い、加入者を増やすきっかけとします。



私たち組合員のパートナー  
**W.Co(ワーカーズ・コレクティブ)**



**W.Co スマイル**  
 森井 恵子さん

私は2017年9月から2019年4月まで共済推進業務スタッフとして、高津センターから組合員の皆様に電話や訪問でライフプランの相談対応・アドバイスをさせていただいておりました。その後、経験を活かしてライフプランナー活動の講師に異動し、現在、高津センターとあやせセンターの共済推進業務スタッフの育成・フォローにも携わっております。

ワーカーズ・コレクティブは働く人の協同組合。雇う・雇われる関係ではなく、メンバー全員が出資し、協同して働き、運営に参加します。地域の課題を解決し住み暮らしやすい豊かな地域社会づくりをめざしています。

スマイルは共育講座などの育成研修にも力を入れております。メンバー皆に支えてもらい、学ぶことで活動の場を広げ、『道』を切り開くことができます。新しい知識やスキルを前向きに身に付けようとする姿勢を応援してくれる組織です。

スマイルは私の『居場所』となりました。仕事をしながら学べます。学ぶことで、見える世界が変わります！是非、それを体感していただきたいです。

高津センターでは共済推進業務スタッフを2名募集中！お一人、お一人に合わせたメンバー育成・フォローを心掛けております。ご応募、お待ちしております♪

生活クラブが好きな方 ♡  
 人と接するのが好きな方 ♪  
 一緒にお仕事してみませんか？  
 ご連絡、お待ちしております。

**15 W.Co DAY**  
 毎月15日は行こう！ワーカーズデー

働きたいと思ったら毎月15日は行こう！  
 W.Coデー開催中！  
 こちらのフォームから一括で川崎市周辺の複数のW.Coにご連絡いただけます





2/4  
(土)

キララ賞贈呈式

今年度の受賞団体は  
「一般社団法人かけはし」さん・「SHO Farm」さん

●一般社団法人かけはしさん

小中学生の子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに取り組まれている元小学校の教員であるご夫婦。生きづらさを抱える1人1人に寄り添い、その子らしく暮らせるようにという信念を持って活動され、地域へひろがりがつけているとのことでした。

●SHO Farmさん

農業の抱える問題を知り、「千年続く農業を！」と化石燃料から脱却した生産や地域資源循環型栽培に取り組まれています。ジェンダー平等を実現する農業も追求し、女性でもできる農業を目指し、奥さまが代表をつとめています。弱者を基準とした農業、再生型農業という新しい農業の在り方に期待します！

●第二部

過去のかわさきからの受賞者のつばき学習会さんのディスカッション。

若者がホッとできる地域づくりをテーマに活動し、キララ賞をきっかけに地域との連携がひろがっているとのこと。地域で活動されている若者の皆さんのパワーももらえ、人と人のつながりの大切さを感じました。(永野)

キララ賞は、神奈川県を拠点にさまざまな分野で活動し、頑張っている若者を応援する賞です。あなたの周りに素敵な活動をしている若者はいませんか？



詳細はこちら  
春から募集開始！



SHO Farm



つばき学習会（吉原さん）



2/5  
(日)

第37回の平和と生活のつどい

参加人数 31名

「学ぼう・考えよう！みんなのまち『かわさき』」

基調講演は、とどろき水辺の楽校の鈴木氏と日本地名研究所の菊地氏。「カヌー体験」「丸子の渡し」「がさがさ」で知られるとどろき水辺の楽校は、体験・環境学習だけでなく、等々力土手に桜の植樹活動も行っています。鈴木氏からは「多摩川はかわさき市民にとって大事で愛すべき資源」とのお話が。多摩川の歴史を7万年前までさかのぼり地名と地形を読み解く菊地氏のミニ講座では、今まで知らなかった川崎発見も。「自分が住みたいまち」を描くグループワークでは、夢を熱く語りながらたくさん作品が出来上がりました。



こんなまちに住みたい！

全てに共通していたことは、「地域の特性（多摩川）を生かした、豊かな住環境」。中でも小学生が描いた街には、「ケーキ屋さん」「緑の豊かな公園」「秘密基地」など、夢があふれていました。それを見た大人たちの心にも、新たな街づくりのアイデアが浮かんだことでしょう。

(櫻井)

理事会報告

1月定例討議：2023理事会運営方針▼報告承認：米・でんき・ハグくみ年度末対策、牛乳利用結集活動、2023共育計画、第20回通常総代会開催方針：総代会PJ設置、commonsデポー大会対応、パートナーシップ活動総括・方針案、たんぼぼ2023発行計画1次、たんぼぼ185号発行計画・186号企画提案、2023自然エネルギー基金助成申請、麻生区SDGs推進隊への活動支援、2023機関会議年間日程1次案、1月臨時▼報告承認：2023共済たすけあい活動費  
2月定例▼監事会：期末監査通知書▼討議決定：2023理事会運営方針・体制▼報告承認：生活クラブでんき&牛乳利用結集活動、2023スタート集会開催計画、総代会議案書、オリエンテーション資料発行、理事ミーティング開催計画、農あるまちづくり活動、一むら麻生地域交流スペースの利活用、たんぼぼ2023発行計画2次、たんぼぼ185号初稿確認・186号企画提案、2023機関会議開催方針、年間日程2次、エコシティかわさきフェス2023、川崎市脱炭素行動宣言対応、2023リフレッシュツアー、ヒロシマ代表派遣活動総括、2月臨時▼討議決定：2023理事会運営体制

組織報告

	組合員数 期首(4月)	組合員数 1月末	世帯当たり利用高 1月末
班	719	703	20,315
個配	8,041	8,191	18,676
デポー	4,070	4,140	12,904
合計	12,830	13,034	16,931

編集後記

昨年末、生活クラブつながりで仲良くなった湘南に住む友人がみかん農家さんで、毎年援農を募集していると聞いて、子ども達や川崎の仲間を大勢引き連れて(笑)みんなで行ってきました！大自然に囲まれ気持ち良い空の下、筋肉痛覚悟で木に登りながらの収穫。楽しむ子どもの笑顔に美味しいみかんも焚火。友だち同士がつながる、ご縁の連鎖。「生活クラブの良さは人&つながり」を実感する出来事に幸せを感じた一日でした！（福本）





(株) エスケー石鹸



好きな消費材は？」と家族に聞くと「おとうふ揚げ、鶏ガラ塩ちゃんこ鍋の素、豚肉、ショートブレッド、卵、牛乳・・・」と止まらないのですが、私のおすすめは「固形せっけん」。香りも色もシンプル、家の中にさりげなく置かれるこのせっけんが超万能。洗面所では子供と一緒に手洗いの歌で30秒、心配なウィルスもこれでサヨナラ。お風呂ではよく泡立て髪からつま先まで。3年間せっけんシャンプーで育てた髪をドネーションしたのが自慢。食器洗いもこれひとつ！

お皿の汚れをボロ布で拭いて、水を汚さない小さな気遣いも忘れずに。

櫻井美緒  
中原コモンズ

(環境平和委員会担当)

## MORE INFO

かわさき生活クラブ  
ウェブ情報まとめ機関紙たんぼぼ  
既発行カラー版

『危機を乗り越える 賢い消費と暮らし方は？』

2023年度かわさき生活クラブ  
活動スタート集会

日時：3/24(金)13:00~15:00

場所：生活クラブ高津センター大会議室  
(Zoom併用)

気候危機からコロナ危機、食料・エネルギー危機、酪農危機と、次々と私たちの暮らしが日々脅かされています。どうして危機は防げなかったのでしょうか。どうやって乗り越え、次の世代によりよい未来をつなげていけるのでしょうか。

講師の話聞き、私たちにできる対策についてみんなで考えを話し合い、次の一歩を見つけ踏み出す契機として開催します。



## 特別講演

迫り来る気候危機・食糧危機・酪農危機を乗り越えるために今私たち生活クラブでできること

講師：伊藤由理子さん

(生活クラブ連合会・共済連顧問)



## 講師プロフィール

生活クラブ生活協同組合・東京に職員として就職。配送センター事務を経て、ワーカーズ・コレクティブ立上げ、個人班（個別配送）導入PJ、広報政策、共同購入政策等担当。1999年に東京常務理事、2011年より生活クラブ連合会・共済連の常務理事に移籍。その後、生活クラブ連合会・共済連の会長を経て2022年7月より顧問に就任。

## たんぼぼ185号 インフォメーション申込/内容についての連絡票

高津センター：かわさき生活クラブ理事会事務局  
矢向センター：かわさき生活クラブ担当行

メール：Kawasaki.seikatsu.club@gmail.com

FAX:044-852-0680 または 配達便・デポー経由で提出してください

 3/24(金)2023活動スタート集会  
に参加したい

 農の活動・有機給食の活動について  
知りたい・参加したい

(締め切りは開催日の1週間前まで)

名前 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

コモンズ・デポー名 \_\_\_\_\_

mail \_\_\_\_\_

託児希望者・子どもの名前 \_\_\_\_\_ ( 歳)

●託児ありの企画は、高津センターで参加する方のみ可能です。  
託児ルールは後ほどお送りします。

通信欄：機関紙たんぼぼについてのご質問・ご意見・ご感想がありましたらお寄せください。